

	島根大学 工学分野
学部等の教育研究 組織の名称	総合理工学部（第1年次:400 第3年次:12） 大学院総合理工学研究科（M:124 D:12）
沿 革	大正9（1920）年 松江高等学校設置 昭和24（1949）年 新制島根大学文理学部設置 昭和53（1978）年 文理学部を改組し、理学部を設置。 昭和60（1985）年 大学院理学研究科を設置。 平成7（1995）年 理学部と農学部を改組し、総合理工学部設置 平成12（2000）年 大学院理学研究科を改組し、大学院総合理工学研究科 修士課程設置 平成14（2002）年 大学院総合理工学研究科博士課程設置
設置目的等	<p>島根大学総合理工学部、理工学研究科の母体の一つである松江高等学校は島根県における教育の普及発達を目的として大正9年に設置された。</p> <p>新制国立大学の発足時には、松江高等学校は島根大学文理学部として承継された。</p> <p>昭和53年、文理学部を分離改組し、教育研究の充実、発展を図ることを目的に理学部が設置された。</p> <p>昭和60年、学部における一般的教養ならびに専門的知識の基礎の上に、広い視野に立って精深な学識を修め、専門分野における高度の理論と応用能力を有する研究者と技術者を養成することを目的に、理学研究科が設置された。</p> <p>平成7年、基礎科学と応用科学技術に対する幅広い知識と学際的センスを兼ね備え、かつ柔軟な適応能力と独創性を持った人材を養成することを目的に、総合理工学部が設置された。</p> <p>平成12年、自然科学分野における高度科学技術者の育成並びに社会人、外国人留学生に対し、高度な科学技術の教育を積極的に推進し、あわせて人工材料・情報・環境技術等の分野において独創的な科学技術の発展と地域産業の振興に寄与することを目的に、総合理工学研究科修士課程が設置された。</p> <p>平成14年、産業発展の基礎となるマテリアル開発分野と、情報通信システム技術及び高機能電子材料・デバイス開発分野について、世界レベルの研究を積極的に推進すると共に、高度な科学技術者、社会人、</p>

	<p>留学生を育成し、地域や国、世界の産業振興に寄与することを目的に、総合理工学研究科博士課程が設置された。</p>
<p>強みや特色、社会的な役割</p>	<p>島根大学においては、理学及び工学の複数の既成分野を融合・総合することにより、理学、工学及び理工系の学際分野に関する幅広い教育・研究を行うことを目的として、教育、研究、社会貢献に取り組んでおり工学分野においては以下の強みや特色、社会的な役割を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎理論から応用技術まで一体化した学部・大学院として教育研究を推進してきた実績を生かし、島根県をはじめとする周辺地域の工学教育の機会均等に寄与し、理学系分野を含めた幅広い知識と能力を身に付け地域における中核を担う技術者等の育成の役割を果たす。大学院博士前期課程においては、学部で修得した専門的基礎知識・技術をもとに高度で深化した工学分野の専門知識・技術を修得するとともに、隣接する関連領域まで俯瞰できる広い視野を持ち、国内における科学・技術的発展に寄与できる技術者等の育成の役割を充実する。また、大学院博士後期課程においては、博士前期課程で修得した専門知識・技術を基盤に、実社会や産業界のニーズに即した課題を探究し、実社会・産業界の今日的課題に対応できる応用力を身に付け、現代技術・科学の開発・発展を牽引する技術者・研究者等の育成の役割を果たす。 ○ 「アクティブ・ラーニングを基調とした理工大好き学生の応援プログラム」－「理工特別コース」、国際的通用性のある認証プログラムや実践教育・学際教育を積極的に推進してきた実績を生かし、高いエンジニアリング・デザイン能力を持ちグローバルに活躍できる工学系人材を育成する学部・大学院教育を目指して不断の改善・充実を図る。 ○ 古代出雲（たたら）製鉄の伝統を生かした鉄鋼・金属分野、理工・医連携の実績を生かしたナノテクノロジー及び社会的要請の高いグリーン・エネルギー関連分野をはじめとする工学の諸分野の研究を推進する。 ○ 電気電子産業、IT産業などの島根県における商工労働行政の事業への参画や木材・建築分野、機械分野等における地元企業との連携など、これまでの地域貢献の実績を生かし、島根県及び周辺地域における地域社会の一層の発展・活性化に貢献する。

- | | |
|--|---|
| | <p>○ 大学院博士課程において企業滞在型授業や夜間開講授業など社会人学生用のカリキュラムにより社会人大学院生を受け入れてきた実績を生かし、更にITを活用するなど仕事と両立した社会人学び直しを積極的に推進する。</p> |
|--|---|